

## 2011 年度 JAMS 会員総会議事録

事務局

2011 年 12 月 10 日(土)、東京外国語大学において 2011 年度日本マレーシア学会(JAMS)の会員総会が行われた。

### 【議長選出】

西芳実会員が議長に選出された。

### 【報告事項】

担当の各委員から活動内容に関する報告が行われた。

#### 1. 運営委員長

西尾寛治運営委員長より、会長候補者選挙の実施にさきだち國谷徹会員を 2011 年度選挙管理委員に指名したことが報告された。また、JAMS 研究大会の準備にあたり、研究大会担当の田村慶子委員が 10 月より在外研究に出るため、西尾委員を研究大会担当代行としたこと、開催校である東京外国語大学の福島康博会員を大会準備委員に指名したことが報告された。

#### 2. 事務局

山本博之事務局長より、マレーシアに関する邦人向けオンライン経済ビジネス情報誌である『The Daily NNA マレーシア版』の月刊コラム「知識探訪」が 2010 年 7 月より JAMS 協力企画となったことが報告された。

#### 総務

西委員より会報 No.49、No.50 を発行し、年度内に No.50 を発行する予定であることが報告された。

#### 会計

坪井祐司委員より、配布資料をもとに 2011 年度の会計中間報告が行われた。

#### 会員情報

篠崎香織委員より以下の報告がなされた。

##### (1)会員数

2011 年 12 月 10 日の時点で会員数は 198 名である。2010 年度末から入会者が 4 名、退会者が 2 名あった。

##### (2)権利の停止および除籍

25 名の会員が権利の停止の対象者(2008 年度以降の会費滞納者)となっている。

##### (3)名簿の発行

新入会員および会員情報の変更について 2011 年 12 月 8 日時点の会員情報に基づきメーリングリストで案内した。年度内に会員名簿を発行する。

#### ウェブサイト

新井和広委員の報告を西尾運営委員長が代読した。JAMS ウェブサイトに会報 No.50 まで掲載した。各地区活動、関連研究会等のお知らせを逐次掲載している。また、『The Daily NNA マレーシア版』に毎月掲載されている「知識探訪」の記事を PDF ファイルでウェブサイトに再録した。

来年度も、研究会等の情報の迅速な掲載や見やすいウェブサイト構築のため、JAMS ウェブサイトに対するご意見や要望があれば事務局にご一報いただきたいとの呼びかけがなされた。

#### 3. 学会誌編集

金子芳樹委員より、2011 年度末の発行をめどに学会誌発行の準備が進められていることが報告された。

#### 4. 研究連携ウイング

##### 大会

西尾運営委員長より、2011 年度研究大会を 2011 年 12 月 10 日(土)、11 日(日)に東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所を会場として開催するはこびとなったことが報告された。

##### 地区活動

###### (1) 関東地区

金子委員より、2011 年 3 月に開催を予定していた関東地区研究会は諸事情により延期し、2012 年 3 月末に立教大学で開催する予定であることが報告された。

###### (2) 関西地区

西尾運営委員長の代読で多和田祐司委員より関西地区研究会を 2012 年 3 月に大阪市立大学で開催する予定であることが報告された。

##### 連携研究会

###### ・クアラルンプール地区研究会

西尾運営委員長より、特に報告する活動を行っていないことが報告された。

###### ・日本マレー世界研究会(JA'AM)

西尾会員より、社会連携ウイングとの共催で 2011 年 6 月に研究会「日本外交と平和構築——マレーシア PKO 訓練センターへの講師派遣」を開催したことが報告された。

###### ・「ジャウィ文献と社会」研究会(坪井)

坪井会員より、2011 年 10 月 15 日、16 日に東京外国語大学でジャウィ文献講読講習会を開

催し、盛況であったことが報告された。

###### ・マレーシア映画文化研究会

篠崎会員より、今年度は下記の一般公開シンポジウムを実施したことが報告された。

『『女性らしさ』の冒険——『愛しい母』ヤスミン・アフマドの思い出とともに』(2011 年 7 月 31 日、京都大学芝蘭会館)

「アジア的ホラー・コメディの可能性」(2011 年 9 月 18 日、JR 博多シティ、アジアフォーカス・福岡国際映画祭と共催)

「親子・暴力・越境——混成アジア映画の可能性」(2011 年 12 月 2 日、京都大学芝蘭会館)

#### 5. 社会連携ウイング

川端隆史委員より今年度の活動として以下の研究会が報告された。

社会連携フォーラム「日本外交と平和構築——マレーシア PKO 訓練センターへの講師派遣」(2011 年 6 月 30 日、京都大学東京オフィス)

研究会「マラッカ海峡の安全——日本の貢献から考える」(2011 年 10 月 8 日、東京外国語大学本郷サテライト)

#### 6. 会長選挙

西尾運営委員長の代読で國谷選挙管理委員より会長候補者選挙について次のように報告された。「2011 年 10 月 4 日に会長選挙を告示し、10 月 28 日をもって会長候補の推薦を締め切った。締切までに会長候補の推薦がなく、選挙を実施しなかった。」

## 【審議事項】

### 1. 会誌の発行について

金子委員より、2010年度に刊行する予定だった会誌第1号が諸般の事情により大幅に遅れていることについて報告とお詫びがあり、あわせて今後の会誌発行スケジュールについて下記の提案がなされ、承認された。

(1)2010年度に刊行する予定だった会誌『マレーシア研究』第1号は刊行時期を繰り下げ、2011年度に刊行する。

(2)第1号刊行のための2010年度の会誌刊行にかかわる予算は2011年度に繰り越す。

(3)『マレーシア研究』第2号は2012年度に刊行し、以後、年1回発行する。

### 2. 2010年度の会計報告について

坪井委員より配布資料に基づいて2010年度の会計報告がなされ、永田監査より監査結果が報告され、いずれも承認された。また、坪井委員より2012年度予算が示され、承認された。

### 3. 2012-2013年度会長の選任

西尾運営委員長より、会長選挙規定を以下のように解釈して会長選挙を行うことが提案され、承認された。

「次期会長の選出にあたって会長候補者の推薦がなかった場合には、現会長を会長候補者とする。次期運営委員は会長が任意の会員のなかから指名する。」

これにより、宮崎恒二会長を2012-2013年度の会長とすることが審議され、承認された。宮崎会長の任期は2012年4月1日より2014年3月31日までの2年間となる。

### 4. 2012-2013年度運営体制

宮崎次期会長より次期運営委員長候補者として山本博之会員が指名され、山本会員より次期運営委員会および次期幹事候補者が以下のように指名され、いずれも承認された。

運営委員長 山本博之

研究連携ウイング

委員(関東地区担当) 舛谷鋭、市川哲

委員(関西地区担当) 多和田裕司

委員(2012年度大会担当) 穴沢眞、黒田景子、富沢寿勇、吉村真子

委員(2013年度大会担当) 片岡樹、見市建、鈴木絢女、長津一史、福島康博

社会連携ウイング

委員 井口由布、川端隆史、畝川憲之、岡本義輝、戸加里康子、永田篤史

会誌編集委員会

編集委員長 田村慶子

副編集委員長 金子芳樹

編集委員 井上真、津田浩司、山本博之

事務局

事務局長 西芳実

委員(総務担当) 西芳実

委員(会計担当) 坪井祐司

委員(会員情報担当) 篠崎香織(\*会員メーリングリスト管理を兼ねる)

委員(ウェブ管理) 新井和広

幹事 永田淳嗣、西尾寛治